

今月は
さんフェア宮城の
特集です!!



さんフェア宮城2014

第24回全国産業教育フェア宮城大会(さんフェア宮城2014)

「第24回全国産業教育フェア宮城大会(さんフェア宮城2014)」が11月8、9日の両日、宮城県名取市のまなウェルみやぎ他で開催された。「繋げよう・広げよう・伝えよう みやぎから」を大会テーマとして専門高校生等が日頃の学習成果を広く発信し、次代につながる新たな産業教育のあり方を発信するとともに、東日本大震災からの復興に貢献する人材育成の現状の報告と、全国から送られた支援への感謝の意を表すものとなった。今号では、その様子をお伝えする。



まなウェルみやぎ

「まなウェルみやぎ」では

商業部によるキッズビジネススタウンが行われた。小学生が市民となり、働き・学び・



セキスイハイムスーパーアリーナ 全国高等学校ロボット競技大会

「セキスイハイムスーパーアリーナ」では

工業部による全国高等学校ロボット競技

「第24回全国産業教育フェア宮城大会」
全国産業教育フェアは、全国の農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉の専門学科・総合学科・特別支援学校で学ぶ生徒による学習成果の発表を通して、産業教育の魅力を発信し、その活性化及び振興を図ることを目的に文部科学省・公益財団法人産業教育振興中央会・その他産業教育に関係する団体等が主催し、各県持ち回りで開催する大会である。この大会は、平成3年度の第1回千葉大会に始まり、東北地区では、平成8年度の第6回山形大会、平成14年度の第12回岩手大会に次ぐ開催である。
宮城県内の15校40人の高校生が生徒実行委員として参加し、開会式や参加・交流イ



オープニングアトラクション「仙臺すずめ踊り」

遊び、共に協力して街を運営し、実践を通じて社会の仕組みを学んだ。参加した小学生は目を輝かせて取組んでいた。
3階の会議室では、福祉を学ぶ高校生が、提示された課題に対して、これまで学んだ介護の技術を競う全国高等学校介護技術コンテストが開催された。
また、看護部が行った骨密度・血圧測定や高齢者体験も来場者が途切れることなく大盛況であった。

「名取市文化会館」では

総合開閉式その他、意見・体験発表、作品研究発表、農業部の全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト、家庭部のファッションショー、高校生レストラン、商業部の英語スピーチコンテスト、特別支援教育部の喫茶店「ここたCafe」等が開催された。
オープニングアトラクションでは、生徒



名取市文化会館

「名取市民体育館」では

全国の専門高校等の学習成果を伝える展示コーナーや体験実演コーナー、学校生産物等の販売ブースの他、各学科の特色を活かした展示・発表等が行われ、多くの来場者でにぎわった。
屋外では、石巻管内5校の専門学科が連



名取市民体育館

「おわりに」

参加した生徒は大会運営等を通じて、多くの来場者に次代につながる新たな産業教育の魅力を発信するとともに震災でいただいた支援に対する感謝の意を伝える大会であった。
第25回全国産業教育フェアは、平成27年10月31日(土)、11月1日(日)三重県で開催される。

「仙台港」では

大会が開催された。全国の子選を勝ち抜いた128チームが、宮城の偉人支倉常長の慶長遣欧使節団を題材とした競技ルールで熱戦を繰り広げた。



仙台港 海洋総合実習船「宮城丸」

水産部による海洋総合実習船「宮城丸」の船内見学が行われた。普段、見ることができない操舵室や機関室などの船内見学や、ロープワーク体験の他、操業で獲った魚に直接触れる体験会も行われた。

「大会に関わったみんなの力により、宮城大会を大成功で終えることができました。この大会で培ったことを活かして、自分達の選んだ道を進み社会に貢献していきたいと思えます。宮城の専門高校生等を代表してこれまで多くの方々からいただいた御支援・御指導並びに宮城大会に来場された多くの皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。」



生徒実行委員会 委員長
仙台市立仙台商業高等学校3年
瀬川 登志也